

[法人の概要]

① 団体名	(公財) 栃木県民公園福祉協会					
② 設立年月日	昭和47年10月17日	③代表者 理事長 熊倉 一臣				
④ 所在地等	宇都宮市西川田4-1-1		電話 028-659-5868			
⑤ 設立目的 事業内容	都市公園において遊園地、プール、体育、文化施設及び都市緑化に関する事業を行うことをとおして、県民生活に安らぎと潤いをもたらす、県民福祉の増進に寄与することを目的とする。 ①都市公園の管理運営及び利用促進に関する事業 ②都市緑化の推進及び普及啓発に関する事業 ③前項に関する付帯事業及びその関連事業					
⑥ 基本財産 (資本)	総額 (内訳) 栃木県出資額 <u>3,000千円</u> (100%) ○○市(町)出資額 _____ (%) その他 _____ (%)					
⑦ 役員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専任	合計
理事	常勤	2				2
	非常勤	3	2	2		7
監事	常勤					0
	非常勤		1	1		2
職員	常勤	8			54	62
	非常勤				26	26
	臨時					0
⑧ 常勤職員の 年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代~	平均年齢
	2	9	14	17	20	50.8才

〈 (公財) 栃木県民公園福祉協会 から県民のみなさまへ 〉

私たちは、50年間という長い期間を経て培ってきた豊富な経験と高度な専門知識を活かして、引き続き、時代のニーズを的確に反映した新たな都市公園の管理運営にチャレンジしていくとともに、目標とする「喜ばれ、愛され、親しまれる公園づくり」の実現に向け最大限の努力をして参ります。

令和5年7月 理事長 熊倉一臣

[情報公開]

HP	URL : https://www.park-tochigi.com
その他 (情報誌・SNS)	

[監査等結果]

名称	実施年月日	結果
事業報告等、財務諸表等の監査	令和5年5月24日	適正
財政的援助団体監査	令和3年12月23日	適正

[その他特記事項]

(市町その他との連携・業務効率化のためのICT利活用など)
市町と公園を拠点とした周辺エリアの活性化や魅力向上に努めている。
キャッシュレス化やリモート会議を実施している。

[主な事業の事業費・概要等] (千円、%)

事業名	R3	R4	事業概要
事業1 公益目的事業	1,146,952	1,194,326	・都市公園管理事業 ・緑化推進事業
	86.6	85.8	
事業2 収益事業等	161,726	182,542	・遊戯施設等事業 ・販売事業
	12.2	13.1	
事業3 法人会計	15,743	14,943	・法人の運営
	0.0	0.0	
全体事業	1,324,421	1,391,811	

[財務指標]

		R2	R3	R4
自己資本比率	正味財産合計/資産合計×100	63.9	60.8	68.7
流動比率	流動資産合計/流動負債合計×100	237.8	195.6	251.3
有利子負債依存度	有利子負債/資産合計×100	0.0	0.0	0.0
管理費比率	管理費/経常費用計×100	1.3	1.2	1.1
人件費比率	人件費/経常費用計×100	60.1	54.6	51.4
独立採算度	(経常収益計+経常外収益計-県からの補助金収入) / (経常費用計+経常外費用計) × 100	94.9	98.7	104.4

[収支決算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）] (単位：円)

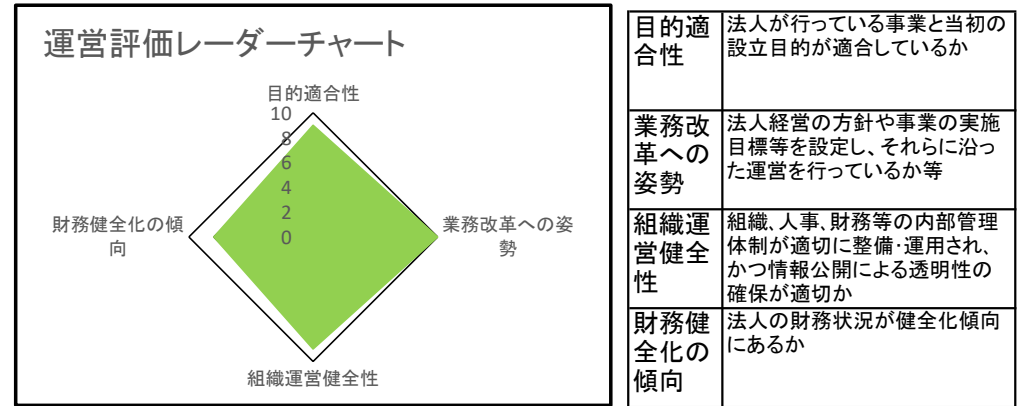
収入の部		支出の部	
公益目的事業会計	1,337,726,616	公益目的事業会計	1,285,608,577
収益事業等会計	250,126,273	収益事業等会計	260,626,821
法人会計	21,288,131	法人会計	15,699,531
当期収入合計 (A)	1,609,141,020	当期支出合計 (C)	1,561,934,929
前期繰越収支差額	310,130,270	当期収支差額 (A-C)	47,206,091
収入合計 (B)	1,919,271,290	次期繰越収支差額 (B-C)	357,336,361

[貸借対照表（令和5年3月31日現在）] (単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
流動資産		流動負債	
現金預金	511,148,158	未払金	159,183,092
未収金	64,309,370	未払法人税	9,778,600
前払金	872,927	前受金	162,000
仮払金	1,918,978	預り金	2,650,757
商品等	16,070,291	仮受金	49,153,623
貯蔵品	5,755,264	賞与引当金	17,874,226
立替金	15,000	固定負債	
固定資産		退職給付引当金	202,850,615
基本財産	3,000,000		
特定資産	571,728,628	負債合計	441,652,913
その他の固定資産	234,188,020	正味財産	967,353,723
		(うち基本財産)	(3,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(100,419,086)
		正味財産合計	967,353,723
資産合計	1,409,006,636	負債及び正味財産合計	1,409,006,636

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	5	9	10	90%
業務改革への姿勢	5	10	10	100%
組織運営健全性	5	9	10	90%
財務健全化の傾向	5	8	10	80%
合計	20	36	40	90%



目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか

[自己評価]

前年度の法人運営についての自己評価（振り返り）	令和4年度は、公益財団法人として利用者に「喜ばれ、愛され、親しまれる公園」を目標に、公益目的事業及び収益事業を展開し、県営都市公園の利用促進に役職員一丸となって取り組んだ。6公園の合計利用者数は令和3年度を9.8%上回ることができた。
事業実施上の課題（主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成）	市町や地域住民、民間企業等と連携を強化し、地域一体となった事業で公園を拠点とする地域の魅力・利用価値向上に貢献する。
組織・財務上の課題（主に組織運営健全性・財務健全化の傾向の評価を基に作成）	組織、人事、財務等の内部管理、体制は適切に整備・運用されており、かつ情報公開による透明性の確保を適切に行った。しかし、公募による指定管理業務が中心であるため、安定的な収入はまだ十分ではないと考えている。
県現職派遣の理由、必要性の評価	県現職派遣なし。
課題に対する今後の取組の方向性	多様化する県民ニーズに応えるとともに、誰もが安心して快適に過ごせるよう、地域の実情に応じた、魅力あふれる公園を目指します。誰もが気軽に参加できる利用者体験型プログラムやイベント等を積極的に行い、集客に結び付けます。
得点率の推移	R4: 90% R5: — R6: —

[所管部局評価]

政策目標		地域の魅力や資源を生かした地域の活性化を図るため、快適で魅力にあふれる都市公園づくりを推進する。	
県と法人の役割分担	県の役割	都市公園の魅力向上、都市公園を中心としたエリアの地域振興の促進。	
	法人に期待する役割	都市公園の適正な管理、地元や周辺施設等との連携、及び各公園の特色を活かした取組の実施。	
財政支出状況 (千円)	区分	令和5年度予算額	令和4年度決算額
	補助・交付金	0	49,152
	委託料	621,942	661,118
	貸付金		
	その他		
	計	621,942	710,270

施設名	管理運営状況評価(R3)				
	A	B	C	D	E
栃木県井頭公園		2	20		
栃木県那須野が原公園		2	20		
栃木県みかも山公園		3	19		
栃木県田母沢御用邸記念公園		2	20		
栃木県とちぎわんぱく公園		2	20		

締結状況(指定)	契約件名	契約締結の方法	指名競争入札又は随意契約とした理由	R4契約金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
							R2	R3	R4	

主な補助事業の実施状況	事業名	事業概要	R4補助金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
						R2	R3	R4	
	エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金	—	49,152	—	—	—	—	—	—

今後の連携・見直し方針	引き続き都市公園の魅力向上や地域の活性化に向けた取組を実施するとともに、より安定的な財源確保のため、イベント等を積極的に行うことにより更なる利用者増・収入増を図るよう指導する。
-------------	--

<p>法人の自己評価に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の設立目的に沿って事業計画を作成し、適切に業務を実施している。 ・都市公園の適正な管理を行うとともに、利用者ニーズの把握に努め、また、地元や周辺施設等との情報・意見交換を積極的に行い各公園の特色を活かした取組を実施するなど、各公園の利用促進を図っている。 ・組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切に行われている。 ・指定管理業務以外にも、遊園地事業、プール事業ほか多くの自主事業で、豊富な経験と高度な専門知識を活かした取組を実施し、公園の魅力向上や地域振興に大きく寄与している。 ・収入が十分に安定的でない部分については、イベントの積極的な実施等により、更なる利用者増に繋げてほしい。 <p>県が期待する役割の達成</p>	A
--	---

[総合評価]

[R4行革委員会報告書(個別法人に対する評価等・継続検討項目以外)]

A	<p>総合的所見</p> <p>コロナ禍を経て公園利用者が徐々に回復する中、経常収益も増加傾向にあり、財務指標は健全と認められる。老朽化設備の修繕・更新については、誰もが安心して快適に過ごせる公園を目指し、計画的に取り組まれない。県民サービスに有用なデジタル技術の導入について、引き続き積極的に取り組まれない。</p>	<p>➤見直し方針に対して順調に対応してきたが、自主財源の確保の観点から、協会所有の施設について更なる利用者確保に向けた取組を行うとともに、老朽化した設備について計画的に更新・修繕を行う必要がある。</p>
指摘事項	なし	